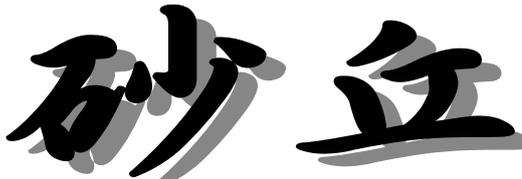


校訓：自主協同	学校教育目標：一人一人が輝き，共に生きる高松っ子の育成	
令和4年度 高松小学校だより 2月号 令和5年1月31日		校長 岸 洋平 ※ホームページ「子どもたちのこと」で情報を更新しています。ご覧ください。 高松小HP QRコード 

力強く「鬼は外！福は内！」



大寒も過ぎ，今頃が一年で一番寒い季節とは思いますが，先日からの大寒波の襲来には改めて驚かされました。暴風雪や低温による生活への影響が各地で見られました。保護者の皆様には，突然の休校や子どもたちの登下校に際しての様々なご配慮を頂いたことに感謝いたします。今後，新型コロナに加えインフルエンザ等の流行も心配されます。「うがい・手洗いの励行」「十分な睡眠と栄養を取ること」等にもご協力をお願いいたします。

ところで，2月3日は節分（せつぶん）です。暦の上では冬と春を分ける節目の日となっています。この日には，古来より自分の内や外にある禍（わざわい）を鬼に見立てて追い払い，家内安全・家族の健康を願って豆をまく風習があります。一説には，この節分は，平安時代に宮中で行われていた悪霊払いの儀式である追儺（ついな）や鬼遣らい（おにやらい）がもとになっていて，今の状況と同じように疫病退散，人々の平穏な暮らしを願って一般にも広く行われるようになったとも言われています。ところで，豆をまく理由は，様々な栄養が詰まった大豆の力が，鬼を退治するのにふさわしい食品だからとも言われます。一方，日本各地には鬼の伝説のようなものがたくさんあるそうで，それぞれの鬼が意味するものも様々です。新型コロナのような疫病以外にも自分に負けそうになる弱い心を鬼に例える場合もあります。今月の全校集会では，子どもたちに，「宿題をさぼる怠け心，決まりや約束を守らないずるい心，友達をからかいたくなるいじめの心など，心の中に棲む鬼を追い出して，まじめに努力する心や相手を思いやる心を育てましょう」と話しました。力強く豆をまいて，心身ともに元気に過ごし，福を呼び寄せて欲しいものです。



なわとびで体力づくり

《2月の生活目標》 『感謝の気持ちを伝えよう』

子どもたちは現在，6年生を送る会に向けて準備を行っています。子どもたちにとっては，1年間の学びを生かした表現の場であると共に，6年生への感謝の気持ちを伝える場でもあります。これを機会に，改めて様々な人にお世話になってきたことを自覚し，感謝の気持ちを伝えることが，人としての成長につながると考えています。

- 【めざす姿】※教職員はよい姿をその場でほめ，価値付けして広める。
- ・素直に「ありがとう」や「うれしかった」などの言葉が言える。
 - ・親切にしてもらったら，次は自分がしてあげるといった行動が取れる。



お知らせとお願い（感染拡大防止の対応をさせていただきますので，ご理解をお願いします）

○2/17（金）6年生を送る会について・・・各学年の出し物は入れ替え制で行います。また，保護者，地域の皆様のご参観は中止とさせていただきます。各学年の出し物につきましては，終了後，グーグルクラスルームに動画を載せますのでご覧ください。